

平成28年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

鳥取県建設業青年部交流会

事業等の名称	① アスファルト舗装の施工体験実習
<p>1. 実施時期 平成28年6月23日</p> <p>2. 実施場所 倉吉農業高等学校</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 倉吉農業高等学校環境課 3年生9名</p> <p>4. 共催・単独等の状況 単独開催（鳥取県建設業魅力発信事業費補助金の活用）</p> <p>5. 事業等の内容 校内のアスファルト舗装未整備区間（学校からの指示あり）の舗装工事を技術者及び舗装作業員の指導のもとに生徒が施工体験をおこなった。事前に建設業協会青年部の土木技術者とともに測量・計画・丁張りの設置をし、当日に掘削・路盤・表層の施工をした。生徒は路盤の敷均し及び転圧の一部と表層の敷均し及び転圧の一部を担当した。機械施工（アスファルトフィニッシャー）の箇所においては専門業者が施工し、機械施工についての説明を受けながら実際の作業を見てもらった。当日は協会青年部8名、県職員2名、舗装作業員6人が事業に携わった。</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） <u>先生の感想</u> ・アスファルトフィニッシャーやロードローラーなどの作業の手際の良さやチームワークでの仕事の様子は、プロの仕事であり、間近で拝見することができたことは大変参考になりました。 ・生徒が設計し、計画高から丁張りの設置をおこなったが、実際工事をしてみる事で設計から施工までの流れをより深く理解でき、貴重な体験となりました。 <u>生徒の感想</u> ・自分たちが舗装した道路が後輩の皆さんに今後も使ってもらえることはとても記念になりますし、設計したものが形となり、後世に残る建設業の仕事は魅力的だと思いました。僕は、建設業への就職を希望しているので、今回の体験を活かしていきたいと思います。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 ・県立高校の校内の整備という事で予算をつけて頂きたい。</p>	

## 倉農高で舗装実習 中部建協青年部が

倉吉市大谷の県立倉吉農業  
高等学校環境科地球環境コー  
ス(土木専攻)の3年生9人  
は23日、同校体育館南側でア



スファルト舗装の施工体験実習を行った。県  
中部建設業協会と同協会青年部が県建設業魅  
力発信事業を活用して、実習に協力。機械施  
工の部分は、協会員が施工。角のすりつけ部  
は、生徒が指導を受けながら人力で施工した。  
施工体験を通して専門知識と技能を理解し、  
建設業に対する理解を深め、魅力を感じても  
らうことで、就業の可能性を高めようとする  
のが目的。

### 舗装体験実習する倉吉農高生徒ら

舗装実習したのは、第一体育  
館とグラウンドの間、約25m、  
幅3mの砂利道。前日までに生  
徒が総合実習・課題研究の時間  
で、測量、設計、丁張を実施。  
この日は梅雨の雨も上がり、  
午前中に掘削、路盤工、午後に  
表層工を実施した。面積の広い  
直線部分は、協会がフィニッシュ  
ローラー等で機械施工し、生徒  
に材料、機械、施工方法を説明。  
角に残ったすりつけ部分を生徒  
が、人力による敷均し、転圧を  
体験した。

平成28年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

鳥取県建設業青年部交流会

事業等の名称	②高校生との測量実習
<p>1. 実施時期 平成28年10月31日</p> <p>2. 実施場所 東伯郡琴浦町野井倉 一向平野営場</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 倉吉農業高等学校環境課 2年生12名</p> <p>4. 共催・単独等の状況 単独開催</p> <p>5. 事業等の内容 測量実習の一環として、1組2名の生徒と1名の指導員（協会青年部）で科目「測量」で学んだ水準測量（昇降式野帳）の実習を実施した。また、測量終了後、指導員の協力による技術研修をおこなった。（毎年継続して実施している）</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木技術者と共に測量実習をすることで測量技術のレベルアップを図る。</li> <li>・社会人と接することにより就職について考えるきっかけとなる。</li> <li>・測量を通して建設業への理解が深まり、入職率が上がることを期待する。</li> </ul> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木系学科の高校生が少ないという事から、小学生・中学生及びその保護者を対象とした魅力発信が大切である。</li> </ul>	

# 倉農環境科2年生が測量研修

## 中部建協青年部が技術指導

【又】で31日配信済み記事「中部建設業協会中部支部青年部(井本貴雄会長)は、県立倉吉産業高等専門学校環境科(地球環境コース)2年生を対象にした測量技術研修会を10月31日、琴浦町野井倉の一向平野農場で開催した。県高生の測量実習を指導し、測量技術向上に協力することにも、建設業界に対する理解を深めようとするもの。

青年部から7社7人、地球環境コース2年生12人が研修に参加。測量研修では、測量技術競技を実施。生徒は、1班2人の6班に分かれ、青年部会員の指導を受けながら、制限時間75分のうちに起算から終点までの高低差を求め、誤差の少ないチームを上位とするもので、時間超過すると1分につき100円のペナルティが加算される。

競技を終え、昼食・休憩を取り、各班指導者が測量技術を復習。成績発表表彰式を行った。



琴浦町野井倉の一向平野農場で行った測量研修会

地球環境コース2年生は、12人に成績が向上。3年生には、すでに測量士補に合格した生徒、インターシップを行った企業に就職が決まった生徒もいる。

平成28年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

鳥取県建設業青年部交流会

事業等の名称	③ 建設機械・資材等を見てさわって体験してみよう
<p>1. 実施時期 平成28年10月31日</p> <p>2. 実施場所 米子福祉会 福生保育園（米子市上福原）</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 園児137名</p> <p>4. 共催・単独等の状況 単独開催（鳥取県建設業魅力発信事業費補助金の活用）</p> <p>5. 事業等の内容 保育園児を対象に建設機械（ミニBH・高所作業車）がどのような場所でどのような時に使用されるかを説明した。実際に稼働する姿を見学した後、乗車体験もおこなった。 また、家などのリフォームで使う珪藻土を用いて手形作りをおこなった。</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果）保育園の先生等へのアンケートから <u>本事業の感想</u> ・建設機械に実際に乗り、操縦させてもらうことで子供達も大変満足していた。 ・間近で建設機械を見るのも触れるのも初めてで子供達も目を輝かせていた。 ・なかなか体験できないことなので、またこのような機会があればよいと思った。 ・珪藻土の感触にとっても喜んでいて。 <u>建設業に対してのイメージについて</u> ・乗車体験により、重機をより身近なものに感じたとともに、建設業について興味を持つことができた。 ・珪藻土が安全かつ身近に使えるものだと分かり、建設資材に興味を持つことができた。 ・建設業の作業内容について知ることができ、建設業について興味を持つことができた。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 ・昨年に続き、鳥取県建設業魅力発信事業費補助金を活用させてもらった。今後も継続して助成して頂ければ有難いです。</p>	